

基本的人権について寸劇をしながら学ぶ生徒たち―門真市沖町



寸劇で基本的人権など学ぶ 門真市立第二中の生徒40人

社会科の授業で日本国憲法や人権について学んでいる門真市立第二中学校で、13日、3年生の生徒らが産経新聞編集企画室の藤浦淳・企画担当部長から寸劇などを通じた基

新聞で学ぼう



NIE出前授業

本的人権のあり方や、新聞の読み方を学んだ。

授業を受けたのは3年1組の約40人。担当の坂東敏教諭の指導の下で、生徒が人権を無視する発言や行動をする役とそれに反論する役になり、

不当な労働の指示や暴言の問題点について考えた。藤浦部長も理不尽な取り調べをする刑事役をしながら、逮捕の意味や守るべき権利などについて解説した。

坂東教諭は「生徒たちが役になりきることで、学んだ内容がより強く記憶に残るし、自分で考えるという生きた勉強ができる」と、授業の趣旨を話していた。

その後NIE（ニュースペーパー・イン・エデュケーション）として、新聞の読み方について藤浦部長が解説。1面の次に社会面を読むなど、新聞に接するコツなどを話した。